

食品ロスから考える食の未来

食育フォーラムin旭川



わが国の食料自給率40%（カロリーベース）という数字は、多くの食料を輸入に頼っていることを意味している。一方で、世界の食料需給は、人口増加や新興国の経済発展等により不安定な状況となっている。

今後とも安定的な食生活を送るためには、食料自給率を高めて食料供給を安定させるだけでなく、食品や食材を無駄なく大切に使うことが重要である。

また、近年「廃棄」に対する市民の関心が高まっていることもあり、家庭における「食品ロス」を通して、生産者、流通業者、事業者及び消費者がそれぞれの立場で、食に関する様々な問題を考えていただき、食料の安定供給及び食料自給率（自給力）の向上を図ることを目的に、本フォーラムを開催する。

※「食品ロス」とは、食べることができるにもかかわらず、廃棄されているもの。

2010.3.1 (月)

13:30～16:30

旭川合同庁舎 1F 共用会議室

旭川市宮前通東4155番31

●講演

「農産物のブランド化と流通から見えること」(50分)

講師：美瑛町農協販売部販売企画課

美瑛選果係長 森平真也氏

●パネルディスカッション

テーマ：「もったいない」～だから食を考えよう～(90分)

◇コーディネーター

海老子川 雄介氏（ライナーネットワーク副編集長）

◇パネリスト

森平 真也氏（美瑛町農協販売部販売企画課美瑛選果係長）

新田みゆき氏（養鶏業、「カフェ風土」経営、ファームレラ代表）

森田 裕子氏（旭川NPOサポートセンター理事・事務局長）

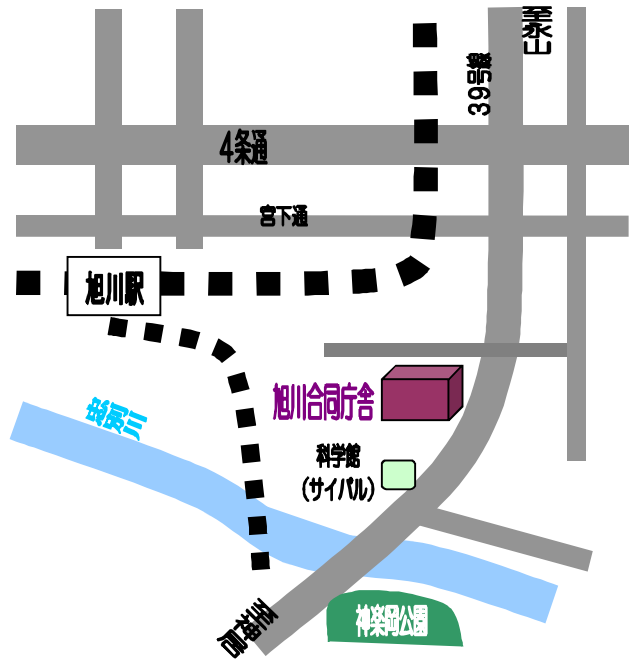
木脇 靖浩氏（飲食店経営、「株式会社もめんどき」代表取締役）

主催：農林水産省北海道農政事務所

後援：旭川開発建設部、北のめぐみ愛食運動道民会議、北海道上川支庁、旭川市、美瑛町農業協同組合、生活協同組合コープさっぽろ

食育フォーラムin旭川

会場案内図



講師プロフィール



美瑛選果

森平真也氏

山口県下関市出身。青山学院大学経営学部卒。29歳。

大学在学中、バイクで北海道を旅行中に泊まった美瑛の宿泊施設オーナーの農作業を手伝い、北の大地と農業の魅力に触れる。卒業後一年間、会社勤めをしながら週末に美瑛の農家を手伝い、2004年に美瑛町農業協同組合に採用。2007年オープンの「美瑛選果」を発案。上川まるしえでも活躍。

食育フォーラム「食品ロスから考える食の未来」参加申込書

参加を希望される方は、本申込書に必要事項を記載のうえ、FAX又は郵送によりお申込みください。また、電話や北海道農政事務所ホームページからもお申込み可能です。

参加希望者が定員を超えた場合は、先着順とさせていただきます、ご参加いただけない場合に限って、前日までにご連絡いたします。

ふりがな			
お名前	(所属)		
ご住所			
電話番号		FAX番号	
メールアドレス			

※お申込時にいただいた個人情報については、本フォーラムに関する連絡及び出席の確認以外には使用いたしません。

<お申込み・お問合せ先>

農林水産省北海道農政事務所
地域第四課 消費・安全担当

(住所) 〒078-8506
旭川市宮前通東4155番31 旭川合同庁舎
(電話) 0166-76-1277
(FAX) 0166-35-9480
(URL) <http://www.maff.go.jp/hokkaido/>